

あらたな 10 年がはじまりました

エファジャパン年次報告書 2015

ご挨拶



みなさまのご支援により、2015年度も充実した支援活動を実施することができましたこと、心より御礼申し上げます。1年間の活動をここにご報告させていただきます。

昨年度は、私が2014年6月に理事長に就任してから1年を通してエファジャパンの運営を経験した初めての年になりました。この間、エファジャパンと現地カウンターパートの協働の様子を視察し、国内では最大の支援団体である自治労各組織

との協力関係を身近に経験し、エファジャパンが持つ大きな可能性を確認することができました。

活動面では、ラオスでエファジャパンでは初めてとなる小学校建設支援を実施したほか、カンボジアでは、寺子屋教室でこれまでになかった小学校の全課程を修了できる体制の実現を目標とした、僻地でのパイロット事業を開始するなど、新たな挑戦に取り組んでいます。こうした経験からの学びを活かし、エファジャパン自体が成長することによって、支援地子ども達へより効果的な貢献ができるよう努力してまいります。

エファジャパンは団体設立からすでに10年が経過し、支援地の経済・社会情勢の変化、現地の物価上昇や円安などの影響もあり、現状の予算規模では、これまでと同等な成果を生み出していくことの難しさが予想されます。そうした状況を冷静に見据えながら、2016年度は財政事情の改善・強化とともに、新しい支援先も含め、より多くの子どもたちに明るい未来が訪れるように、今後10年を見据えた中期計画の策定に取り組む所存です。

引き続き、みなさまからの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン
理事長 伊藤 道雄

— 目 次 —

ご挨拶	2	カンボジア	8～9
2015年度活動ハイライト	3	海外その他	10
エファジャパンの組織	3	国内事業	10～11
ベトナム	4～5	エファグッズ	12
ラオス	6～7	会計資料	13～19

2015 年度活動ハイライト

◆ ◆ ◆ 海外事業 ◆ ◆ ◆

・東南アジアの障害児に車椅子を贈る会からベトナムの子どもに車椅子を寄贈

日本のNPO法人東南アジアの障害児に車椅子を贈る会より、ベトナム・ハイフォン市の障がいを持つ子ども達に車椅子が寄贈されました。

・ラオスでの小学校校舎建設事業

自治労東海地連のご支援により、ラオス・サワンナケート県でエファジャパンでは初めてとなる小学校建設支援を実施しました。

・プレアビヒアパイロット事業開始

カンボジア北部の県プレアビヒアの国境地帯で、エファジャパンの現地パートナーSCADPが実施する寺子屋教室では初の試みとなる、小学校6年間の初等教育課程を寺子屋教室で修了できる体制を整えるパイロット事業を開始しました。事業費の一部を自治労九州地連にご支援いただいているほか、教室数を増やすためフェリシモ地球村の基金から助成を受けています。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員…146人
シニア会員…40人
賛助会員個人…42人
賛助会員団体…40団体

総会
(正会員で構成)

- ・エファパートナー（個人 86、団体 62）
- ・一般寄付者（個人、団体）
- ・事業指定寄付者（個人、団体）
（ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ようちえん募金、荒川さん募金、書き損じハガキ・古本リサイクル募金、他）
- ・ボランティア
（事務局ボランティア、デザインボランティア、企業ボランティア）

理事会

理事長	伊藤	道雄
副理事長	植本	眞砂子
理事	大石	芳野
理事	大島	芳雄
理事	木下	究
理事	佐藤	千恵子
理事	高橋	睦子
理事	田中	浩二
理事	玉井	一匡
理事	千田	真
理事	中西	満
理事	福島	嘉人
監事	遠藤	幹夫
監事	山形	昌弘

事務局

事務局長	大島	芳雄
国内事業	五十嵐	香織
広報	宮原	朝香
ベトナム駐在	崎川	勝志

2016年3月31日 時点

ベトナム Viet Nam

・支援が必要な背景

ハイフォン市は経済発展を遂げている反面、福祉体制が整備されておらず、それに関わる人材も不足しています。この傾向は、特に障がい児福祉において顕著です。

・支援の目標、目的

ハイフォン市の福祉関連の体制の整備や人材育成に寄与しながら、困難な状況にある子ども達や障がい児の発達する権利の実現をめざします。

ハイフォン市障がい児支援

■ベトナムの障がい児事情

ベトナムには670万人の障がい児・者がおり、その内18%が15歳以下だと推計されています。しかし、その人数の多さに比して、制度、法律、施設、人材などあらゆる面で、障がい児に対する支援体制が未整備のままです。

ハイフォン市にはおよそ2,200人の障がい児がおり、聾学校や盲学校、市運営のリハビリテーションセンターの他、私営の障がい児支援センターもあることから、ベトナムの他の地域と比べると恵まれています。それでも、受け入れ人数の限界や交通機関の未発達、金銭的な理由から、これらの学校やセンターに通えるのは一部の障がい児です。終日自宅で、特に何もすることもなく毎日进行す子どもも少なくありません。

■障がい児教室支援

ハイフォン市には各地域の人民委員会（日本で言う町・村役場）や診療所に20カ所近くの障がい児教室（1教室当たり20人～40人）が設置されています。これらの障がい児教室では、地域で活動する機会が限られている障がい児達が、週1回～月1回の割合で集まり、文化活動や遊戯、リハビリ活動などを行うことになっています。しかし、実際は活動費の不足で活動が停止している教室も少なくありません。また、障がい児教室を担当する職員は人民委員会の職員や小学校を退職した元教師で、障がい児に関する専門知識も経験もなく手探りで活動を行なっているため、活動の質は総じて低く、職員

個人の資質に左右されてしまいます。

これらの運営・活動状況を改善するため、エファジャパンは連合愛のカンパのご支援で3つの地域（ドンクオックビン地区、ティエンラン町、タンフォン村）にある障がい児教室と、自治労岡山県本部のご支援でフンティエン村の障がい児教室の、計4つの障がい児教室で活動を支援しています。2015年度は活動用具の寄贈や子どもの日・中秋節のイベントの開催、人件費の補填、地域住民らを対象にした障がい児の保護・ケアに関する講習の他、障がい児教室の活動に定期的に参加できない重度の障がい児に対しては、診療所の職員などによる自宅訪問リハビリ活動を支援しました。これらの支援により、各障がい児教室の活動の回数や種類が増え、重度の障がい児も活動の対象に加えることで、地域の障がい児全員が支援の恩恵を受けることができています。



ティエンラン町障がい児教室の様子

児童ソーシャルワークセンター支援

ソーシャルワークセンターは、ハイフォン市全域の貧困や虐待、HIV、麻薬、障がいなどの社会福祉問題に取り組んでいるハイフォン市政府の機関です。エファジャパンは、2013年12月から当センターと協力し活動を行なっています。2015年度は、子ども関連の職務に就いているハイフォン市の政府職員や、3つの地域（ギアサー町、ドンケー町、タンズオン村）の小学生や子ども

関連の活動に携わる住民を対象に、子どもの権利や保護、ケアに関する講習を実施しました。また、これら3つの地域では、4月～9月の間に毎月1回困難な状況にある子ども達30～40人が地域の人民委員会に集まって、文化活動や学習会を行ない、9月には中秋節を祝うイベントを開催しました。

アジア子どもの家奨学金基金

1999年より自治労栃木県本部が500万円をハイフォン市に委託し、その利子を運用して奨学金事業を開始しました。さらにハイフォン市での物価の上昇に対応するため、2012年度にはエファジャパンの自己資金で、2013年度には自治労栃木県本部のご支援で本奨学金基金の預金額を増額し、現在は670万円となっています。

本奨学金基金はハイフォン市児童保護基金が管理し、経済的に貧しいながら、優秀な成績を収めた子ども達に支給されています。2015年度は計60名の子ども達に1人当たり80万ドン(約4,000円)の奨学金と10万ドン(約500円)分のギフトを支給しました。



奨学金授与式

書き損じハガキでの支援

エファジャパンにご寄付いただいた書き損じハガキの資金による支援で、ハイフォン市農村部のドンタイ村にある2カ所の文化会館の敷地内に外遊具を寄贈、設置しました。ベトナムでは、都市部にある一部の公園や遊園地を除いて、学校を含むその他の場所には外遊具は設置されておらず、農村部の子ども達は外遊具で遊ぶ機会がありません。そこで、エファジャパンの協力機関であるハイフォン市労働傷病兵社会福祉局から要望を受け、エファジャパンからはジャングルジム、吊り輪、ボード

型シーソー、忍者渡りを、またハイフォン市から併せて滑り台やブランコ等をドンタイ村の2カ所の文化会館の敷地内に設置しました。文化会館は地域の集会場の役割を持っており、子どもの面倒を見なければならない保護者が文化会館で村の会合や催しに出席する際には、子ども達は外遊具で遊びながら待つこともできます。外遊具を設置するとすぐに子ども達が駆けつけ、遊び始めていました。



ドンタイ村文化会館1



ドンタイ村文化会館2

ベトナム事業の今後

各障がい児教室の運営体制が脆弱な中で、効果的な活動を行なっていくためにも、中長期的な活動計画を立てていく必要があります。困難な子ども達を幅広く支援するためには、各地域で活動するソーシャルワーカーの育成、及び支援ネットワークの構築が望まれます。

ラオス Laos

・支援が必要な背景

ラオスは図書館・図書室、及び図書の数が絶対的に不足しているうえ、図書サービスの改善に寄与するための全国的な組織も未発達のままです。また、ラオスの小学校は非常に簡素な作りで、教室数が足りない校舎が少なくありません。

・支援の目標、目的

現場レベルでは図書館・図書室の設置や活用状況のモニタリング、本の寄贈を通して、子ども達が色々な本を読む機会を提供する一方で、全国組織であるラオス図書館協会の活動を支援することで、全国的な図書サービスの向上に努めます。小学校新校舎の建設を通して、子ども達の教育環境を整備します。

図書館事業

■図書館概況

ラオスには、小中学校の1割強しか図書館・図書室が設置されておらず、公共図書館は県立図書館が各県に1館あるだけです。また、本を売っている店は都市部にしかありません。そのため、子ども達が教科書以外の本を読む機会は非常に限られています。日本の日本図書館協会にあたるラオス図書館協会は政府からの財政支援は僅かで、会員からの会費の収入もなく、外部からの支援なしでは機能することができません。

■ヴィエンチャン市立図書館・多目的ホール支援

ヴィエンチャン市立図書館（蔵書数 25,000 冊）は、自治労中央本部及び3県本部（愛知・東京・北海道）のご支援で建設され、2006年12月に開館しました。2009年3月以降は、自治労東海地区連絡協議会から備品の購入や職員の超過勤務代（平日16時～18時）を含む図書館運営費の一部を継続してご支援いただいています。一方で、ヴィエンチャン都政府が負担する図書館運営費の額も増えています。図書館の開館時間は、月曜日～金曜日の9時～18時で、2015年の利用者数はのべ37,854人、貸出人数はのべ640人、貸出冊数はのべ1,730冊でした。

■コミュニティ図書館支援

自治労三重県本部のご支援で、ヴィエンチャン都郊外のサンパンナ村小学校の敷地内にコミュニティ図書館を建設しました。同敷地内には村の幼稚園、100m離れた所には中学校があり、これらの子ども達も当図書館を利用しています。また、自治労静岡県本部のご支援で建設されたノンセンチャン村コミュニティ図書館や自治労新潟県本部のご支援で建設されたタートン村コミュニティ図書館、自治労青森県本部のご支援で建設されたドンクワイ村コミュニティ図書館（いずれもヴィエンチャン都郊外の小学校の敷地内に建設）の他、個人の方（複数名）のご支援でヴィエンチャン都やルアンパバン県、

チャンパサック県に設置された小中学校の図書室計16カ所をモニタリングし、新しい本を購入・寄贈しました。



サンパンナ村コミュニティ図書館

■ラオス図書館協会支援

2007年に設立されたラオス図書館協会は、ラオスの図書館界では随一のメンバーから構成されています。しかし財政不足のため、設立後の実際の活動は停止状態でした。そこで、ラオス図書館協会が有する優秀な人材を効果的に活かすため、エファジャパンは2011年10月から、ラオス図書館協会の活動支援を行なっています。2015年度は協会機関誌の発行、各図書館の職員を対象とした図書館情報学研修、タイで開かれた東南アジア図書館員会議出席の旅費、国際識字デーでのイベント、事務用品などを支援しました。エファジャパンが支援を開始して以降、ラオス図書館協会は全国の図書館協会としての機能を果たしています。



図書館情報学研修

サワンナケート村小学校建設事業

サワンナケート県の農村部に位置するナーハンケー村小学校(生徒数112人)の校舎は、コンクリートブロックを積み上げただけの簡素な作りで、2教室しかなく、違う学年の子ども達が同じ教室で学んでいました。そこで、自治労東海地区連絡協議会が支援をしているサワンナケート県立図書館を通じて新校舎建設の要望があり、自治労東海地区連絡協議会のご支援で新校舎を建設しました。新しい校舎は5教室有り(ラオスの小学校は5年制)、1学年1教室使えるようになった他、別に1室図書室も設置されています。また、ナーハンケー村の周囲にある3つの村の小学校は3年生までしか受け入れていない不完全小学校で、これらの小学校で3年生を終えた子ども達が、教室数の増えたナーハンケー村小学校に編入することも可能になりました。



書き損じハガキでの支援

皆様のご協力により収集・換金した書き損じハガキによる支援で、カムワン県子ども文化センター(CCC)とセコン県CCCに活動用具を寄贈しました。カムワン県CCCは、2008年1月～2011年12月の間、自治労大分県本部のご支援で、職員やジュニアリーダー(年少の子ども達をリードし、先生の補佐をするCCCの年長の子どもボランティア)を対象とした研修や活動用具の寄贈などを行ないました。その後は、個人の方のご支援で活動用具を寄贈したこともありましたが、それも使い切り活動に支障が出てきているということで、再び、文房具や拡声器、ゴザなどの活動用具を寄贈することにしました。

セコン県CCCは、2009年11月～2010年11月の間、日本政府外務省のNGO連携無償資金を得て、エファジャパンがセコン県に設立したCCCです。設立後は、セコン県政府が人件費や活動費を負担してきましたが、とても十分とは言えず、時折エファジャパンが活動用具などを支援してきました。しかし、まだセコン県CCCが自立して十分な活動ができるまでには至っておらず、以前支援した活動用具もなくなっているとい

うことで、文房具や舞踊道具、スポーツ用具などを新たに寄贈しました。実際にラオスのCCCは、設置後に活動用具の不足から活動が停滞してしまうところが少なくありません。今回の書き損じハガキによる活動用具の寄贈で、カムワン県CCCとセコン県CCCの活動が再び活性化されます。



ラオス事業の今後

ラオスの図書館・図書室は財源が乏しく運営体制が脆弱なため、地域住民や学校全体で運営を支えていく必要があります。ラオスのCCCはフォローアップ支援を続けながら、政府による支援額を増やし、自立して活発な活動を継続できる体制を確立していかなければなりません。

カンボジア

Cambodia

・支援が必要な背景

開発分野における国際社会共通の目標である『ミレニアム開発目標』のひとつは、2015年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにすることでした。残念ながら、カンボジアではこの目標を達成することができませんでした。都会のスラムや僻地では、教育を受けることができない子ども達が未だに存在します。

・支援の目標、目的

教育を受ける権利は、全ての子どもに保障されなければなりません。僻地であるが故に教育を受ける権利が無視されてきた子ども達に教育の機会を提供すると同時に、保護を必要とする子ども達の生活改善をめざします。

ノンフォーマル教育（寺子屋教室）運営支援

■ SCADP（スカップ）

カンボジアの市民団体 SCADP（Street Children Assistance and Development Programme: ストリートチルドレンの支援と育成事業）は、1992年に創設者のイム・ソカリィ女史がプノンペンでひとりのストリートチルドレンと出会い、その子にノートと鉛筆をあげて読み書きを教え始めたことから、活動が始まりました。その後、1998年に内務省から正式な認可を受け、現在では教育事業を中心に首都プノンペンと地方8県で活動しています。

エファジャパンは、2007年度から SCADP をパートナーとして、カンボジアで事業を展開しています。

■ 寺子屋教室

SCADP が運営するプノンペン市内のスラム再定住地センソク（登録児童 59 人）と隣県カンダールの村 1 カ所（登録児童 107 人）の非公式教育の場である寺子屋教室で、教員の給与を支払い教室運営を支援しています。

就学前の子どもが大部分を占めているカンダール県の寺子屋は、前年度に自治労福岡県本部のご支援で教材や備品をそろえ就学前教室に変えましたが、2015 年度は同県本部のご支援により教室を新築しました。



新築した就学前教室

一方、センソクの寺子屋教室は、11月に教員が退職したため閉鎖しました。これまでの成果や閉鎖後の状況

を職員が調査しています。

■ 国境地帯の子どもの教育支援

ブレアビア県国境地帯では、内戦から近年の国境紛争に至る間に多くの兵士が家族と共に動員され、また貧困家庭の移住が奨励されたため、未開発の森の中に多くの居住地ができました。そこで生活する子ども達の多くは、近くに小学校が無い、教員が赴任しない等の理由で、正規の初等教育を受けることができないでいます。

SCADP は、2015 年度現在この地域の 11 カ所で寺子屋教室を運営しています。登録児童数は 750 人です。前年度に引き続き、自治労兵庫県本部のご支援で、登録児童全員にノートや鉛筆などの学用品を配布しました。

7 月に、地元の行政機関を含む地域の状況と寺子屋 8 教室を調査した結果、この地域では公立学校の増設が当面期待できないことが判明しました。これまで寺子屋教室では公立小学校への編入を目的として初等教育の基礎を教えてきましたが、ここでは編入できる学校自体が足りないため、寺子屋で初等教育 6 年間の課程を修了するパイロット事業を 1 村で開始しました。クラス分けのテストを行ない、公立小学校の教科書を使って授業を進めます。生徒の出欠や定期試験の成績を記録し、元小学校教員の職員が進捗状況を確認します。この事業は、自治労九州地区連絡協議会とフェリシモ地球村の基金の支援を受けています。また同じ調査で、寺子屋教室教員の能力開

発の必要性が明らかになったため、9 月に 5 日間の研修を実施しました。



ブレアビアの寺子屋教室

SCADP 支援

■ SCADP 児童保護施設

SCADP のプノンペン事務所とプレアビヒア県のセンターには、様々な理由で保護者と生活できない子ども合計 80 人余りが生活しています。子ども達は、そこで共同生活を送りながら近隣の学校に通っています。

プノンペンの施設へ、自治労熊本県本部と鹿児島県労働者福祉協議会のご支援で石鹸・洗剤・歯ブラシ・歯磨きなどの日用品や常備薬を支給しました。

プレアビヒア県の施設では、自治労沖縄県本部のご支援で男子寮を建設しました。それまでの男子寮は狭くて風通しの悪い小屋で、一部の子ども達は屋外で就寝していたため、今後は全員が快適に寮で生活できます。

■書き損じハガキでの支援

プレアビヒア県の保護施設の子ども達に公立学校の制

服と学用品を支給しました。プノンペンの施設同様、子ども達の伝統舞踊の練習を始めたため、自分達の踊りを確認できるよう大きな鏡を設置し、講師を派遣しました。



新しい男子寮

カンボジア子どもの家奨学金事業

■子どもの家概況

1997 年に、自治労の支援によって、首都プノンペンに国立幼稚園教員養成学校および付属幼稚園として設立されました。養成学校は 2 年制で、2015 年度は 476 人の訓練生が学んでいます。カンボジア唯一の幼稚園教員養成の場であり、国全体の幼児教育と保育の人材育成を担っています。



奨学金を受けている 25 人

2000 年にワゴン車を贈呈した自治労京都府本部が 2 月に 16 年ぶりに訪問し、訓練生用のコンピュータと図書を寄贈しました。

■奨学金事業

7 月まで、訓練生 25 人に月 25 ドルの奨学金を 10 ヶ月間支給しました。10 月の新学期からも、地方出身の貧しい訓練生 25 人に月 25 ドルの奨学金を支給しています。

■保育士による技術指導ボランティア

公立保育園の元保育士、荒川智子氏は国立幼稚園教員養成学校で 2001 年から毎年、訓練生へ保育技術を指導するボランティアをしています。

2015 年度は 4 月 24 日から 5 月 4 日まで、正規の授業として 1 日 6 時間、軍手を使った指人形の制作や手遊びを指導しました。材料の軍手は、練馬区職員労働組合からの寄贈です。荒川氏の活動を応援するため、エファジャパンでは活動費を支援しました。

カンボジア事業の今後

支援の重点を首都プノンペンからプレアビヒア県の国境地帯に移し、これまで無視されてきた僻地の子ども達の教育を受ける権利と保護される権利を保障していきます。

国立幼稚園教員養成学校訓練生への奨学金は、就学前教育の地方への波及効果が大きいいため継続します。同時に荒川智子保育士の活動も、養成学校での教育内容向上に貢献していることから助成を続けます。

海外その他 Other

タイ

タイのターク県メーソットにあるパラミ・ラーニングセンターは、ミャンマーからの移住労働者の子ども達のため、ミャンマー労働組合連盟（FTUM）が1999年に設立した教育施設です。2015年度の生徒数は675人、教員数は30人でした。

自治労大阪府本部は、2011年から施設の整備や通学用車両の寄贈および訪問交流を行なって来ましたが、2016

年2月に支援総括のため最後の訪問を行ない、運営資金を支援しました。

支援期間中にミャンマーの民主化が実現し、センターを設立したFTUMはミャンマー国内で合法化されました。さらにセンターはタイ政府とミャンマー政府から非公式の初等教育施設として認可され、両国での中学校進学が道が開けました。

緊急支援

2015年4月25日にネパールで発生した地震と、その後の余震により8,500人以上が死亡しました。エファジャパンは、緊急援助として自己資金50万円と自治労東京都庁職員労働組合のカンパ50万円を、現地市民団体コンサーン・ネパールに送りました。

支援金は、震災直後はテント、毛布、飲料水などの配布、その後の復興事業では活動拠点（事務所、リソースセンター）の修理、学用品支援、雨水ろ過システム設置などに使われました。

国内事業

集会・学習会

■自治労第88回定期大会（8/24～26・金沢）

石川県金沢市で開催された自治労第88回定期大会にブースを出展し、パネル展示とエファグッズの販売を行いました。カンボジアの障がい者支援団体から入荷した財布やペンケース、スカーフを中心に、ラオスのキーホルダーやベトナム布袋も販売し、多くの方にご購入いただきました。イーデス・ハンソン顧問と植本眞砂子副理事長も両日ブースに立ち、日頃ご支援いただいている

会員や寄付者の皆様にご挨拶させていただきました。

■その他イベント・学習会

- ・自治労滋賀県本部・保育部会学習会（5/17・滋賀）
- ・NTT労働組合児童労働撲滅キャンペーン（6/28・横浜）
- ・『地方自治と子ども施策』全国自治体シンポジウム2015（10/10～11・西東京） 他

ボランティア

毎月1回最終木曜日のエファボラデー（エファジャパンボランティアデー）では、エファグッズや布袋の仕分け梱包、ポスターその他の発送準備、書き損じハガキのカウントなどを、ボランティアのみなさんに作業していただきました。また、デザインボランティアの方には書き損じハガキや古本リサイクル募金のポスター等の制作をお願いしました。さらに、千代田区にあるMSD株式会社様にポスター送付のための準備作業を、企業内ボラ

ンティアで協力いただきました。



エファボラの様子

国内事業

書き損じハガキ・古本リサイクル

■書き損じハガキ収集

2015年度（4月～3月）の合計は延べ件数102件、ハガキ総計15,503枚のご協力をいただき、773,791円（切手交換後の額面）となりました。未使用切手のご寄付は書き損じハガキを交換する際の手数料に使わせていただきました。さらに、テレホンカードなどによる寄付が37,680円となりました。たくさんのご協力、誠にありがとうございました。

また、2015年度中に実施した、2014年度の手ガキでの支援は、ベトナム・ハイフォン市の農村への外遊具の寄贈、ラオス子ども文化センター2カ所への活動用具の寄贈、カンボジア・プレアビヒア県の児童保護施設

設の子ども達への制服や学用品の寄贈など、3カ国5件となりました。詳しくは各国の事業報告をご覧ください。

■古本リサイクル募金-エファジャパンきしゃぼん-

古書買取店の嵯峨野株式会社との提携により実施している、嵯峨野株式会社での古本買取金がそのままエファジャパンへの寄付となる古本リサイクル募金は、2015年度76,539円となりました。ご協力ありがとうございました。エファジャパンの自己資金として支援活動に使わせていただきます。

広報・その他

■広報誌『えんぱわ』（季刊：第37号～第40号）

エファジャパン会員他支援者のみなさま、関係者、自治労各組織へ送付するほか、全国のボランティアセンター、自治体国際化協会へ一般配布をお願いしています。

【特集】

- ・第37号「度重なる紛争に教育を奪われた地域への支援」（カンボジア）
- ・第38号「様々な困難に直面する子ども達を支援するために」（ベトナム）
- ・第39号「小学校卒業までの教育を支援の手で」（カンボジア）
- ・第40号「エファジャパン初めてのラオス小学校建設支援事業」

■エファ通信（メールマガジン）

月に1回、会員、パートナーその他ご希望の方に配信しています。バックナンバーはエファジャパンHPにも掲載しています。また、登録・解除もHPから手続きしていただけます。

■Webページ

現在エファジャパン公式ホームページのほか、Facebook（フェイスブック）エファジャパン公式ページ、Youtube（ユーチューブ）エファジャパン公式ページを開設しています。その他、Yahoo! ネット募金やgooddoのサイトにて、募金やクリック募金のエファジャパンページを設置いただいています。Yahoo! ネット

募金では29,182円、gooddoでは9,866円のご協力をいただきました。

■自治労通信広告掲載

自治労中央本部のご協力により、年に数回「自治労通信」に広告を掲載していただいています。2015年度は7・8月号で古本リサイクル募金、11・12月号と3・4月号で書き損じハガキの広告を掲載していただきました。広告デザインはデザインボランティアの方による制作です。



■自治労プレスリリース

月に1回程度、エファジャパンの最近の活動の一つを取り上げプレスリリースとして自治労各県本部へ配信しています。配信した記事と画像は他のメディアへの転送・転載大歓迎です。

エファグッズ

エファジャパンでは、エファジャパンの活動地であるベトナム、ラオス、カンボジアで、貧困家庭や障がいを持つ人々が製作した雑貨を販売する市民団体から商品を買取り、エファグッズとして販売しています。

センター・オブ・トゥモロー（ベトナム）

ベトナム・ハノイにある民間の障がい者福祉作業所です。自らも事故により障がいを負ったレー・ミー・ヒエンさんという女性が設立しました。障がい者の職業訓練と雇用創出を目的としています。刺繍や雑貨などの民芸品製作の職業訓練を行っており、センターを通じた販売により、障がいに応じて作業を分担した各人が収入を得ることができます。エファジャパンからはデザインを特注した巾着袋を注文し、買い取っています。



フレンズ・インターナショナル（ラオス）

カンボジアやタイ、ホンジュラスなどでも活動する国際NGOであるフレンズ・インターナショナルは、都市部で取り残された子ども達や若者を支援しています。働く子どもや学校に行けない子どもを減らすため、貧困家庭や疎外されている地域の親に職業訓練を実施し、そこで製作されたグッズを販売しています。また、若者の自立のための職業訓練としてレストラン経営などの事業を行ない、調理、接客などを実習しています。

グッズの購入により貧困家庭の収入を向上させ、子ども達が路上で生活するのを防ぎ、成育環境の改善に貢献することができます。エファジャパンではキーホルダーを仕入れ、販売しています。



ワットタン・アーティザン・カンボジア

カンボジア・プノンペンにある障がいを持つ労働者による協働組合です。地雷とポリオによる障がい者技術訓練所の卒業生により組織されました。手芸品や木工彫刻などの職業訓練を行ない、製品を販売しています。職業訓練と雇用を通して障がいを持つ人々の生活水準を向上させることを目的としており、収益は商品製作に関わった人々の収入になると共に、新たに職業訓練を受ける人々のための費用としても使われます。エファジャパンではシルクの美しい織布を使った小物雑貨を中心に販売しています。



クラバンハウス（カンボジア）

自らも障がいを持つタナン・ホックさんという女性が設立し、プノンペン周辺の農村に住むシルクやコットン製品の織り手や縫製の職人に販路を提供しています。製品作りに関わる職人の半数以上は地雷やポリオを原因とする障がい者で、ほとんどの製品はタナン・ホックさん自身がデザインしています。クラバンハウスの成功により、高い技術を持つ障がい者が適切な収入と、その美しい製品を海外を含む広いマーケットで販売する機会を得ています。

エファジャパンでは、主にシルクやコットンで作られた財布やカードケースなどを仕入れて販売しています。



【収支】

収入	エファグッズ	130,400	支出	仕入れ、輸送経費、雑費等	3,906,257
	自治労布袋	2,886,000			
収入合計		3,016,400	支出合計		3,906,257
	利益	-889,857			

会計資料

2015 年度決算

貸 借 対 照 表

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位 : 円)
2016年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	2,162,542
現 金	92,762	前 受 金	6,000
一般会計	(32,697)	預 り 金	109,857
収益事業	(60,065)	雇用保険	(39,447)
普通 預金	14,001,870	源泉所得税	(70,410)
中央労働金庫	(8,939,156)	未払法人税等	70,000
三菱東京UFJ	(2,878,066)	流動負債 計	2,348,399
ラオス外貨預金	(43,962)	【固定負債】	
ベトナム外貨預金	(421,108)	退職給付引当金	3,211,500
三菱東京UFJ (収益)	(1,719,578)	固定負債 計	3,211,500
郵便振替口座	6,191,576	負債の部合計	5,559,899
定期 預金	5,075,000	正 味 財 産 の 部	
現金・預金 計	25,361,208	【正味財産】	
(売上債権)		前期繰越正味財産額	28,003,843
未 収 金	261,912	当期正味財産増減額	△ 5,057,419
売上債権 計	261,912	正味財産 計	22,946,424
(棚卸資産)		正味財産の部合計	22,946,424
棚卸 資産	254,843		
棚卸資産 計	254,843		
(その他流動資産)			
前払 費用	301,452		
仮 払 金	886,908		
その他流動資産 計	1,188,360		
流動資産合計	27,066,323		
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
敷 金	1,440,000		
投資その他の資産 計	1,440,000		
固定資産合計	1,440,000		
資産の部合計	28,506,323	負債・正味財産の部合計	28,506,323

活動計算書

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 2015年 4月 1日 至 2016年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	1,620,000
シニア会員受取会費	228,000
賛助会員受取会費	340,000
団体賛助会員受取会費	1,750,000

【受取寄付金】

受取寄付金	43,757,399
-------	------------

【受取助成金等】

受取助成金	1,689,000
-------	-----------

【事業収益】

エファグッズ・カンホシア	74,900
エファグッズ・ラオス	55,500
ベトナム布袋	2,886,000

【その他収益】

受取 利息	4,193
雑収入	13,630

経常収益 計

52,418,622

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	12,482,718
法定福利費(事業)	137,061
人件費計	12,619,779

(その他経費)

売上 原価	3,768,561
プロジェクト費(事業)	16,867,312
業務委託費(事業)	436,204
広報費(事業)	550,952
印刷製本費(事業)	197,756
会議 費(事業)	52,052
旅費交通費(事業)	3,890,853
車両 費(事業)	18,655
通信運搬費(事業)	348,878
消耗品 費(事業)	279,406
修繕 費(事業)	4,399
地代 家賃(事業)	400,042
保 険 料(事業)	10,331
諸 会 費(事業)	132,978
交際費(事業)	44,094
支払手数料(事業)	118,938
為替 差損(事業)	466,127
雑 費(事業)	61

その他経費計

27,587,599

収益事業費

137,696

事業費 計

40,345,074

【管理費】

(人件費)

給料 手当	7,297,616
退職給付費用	989,600
旅費交通費	285,950
法定福利費	2,613,099
福利厚生費	35,544
人件費計	11,221,809

(その他経費)

印刷製本費	584,972
会議 費	17,754
旅費交通費	172,600
通信運搬費	352,566

活動計算書

特定非営利活動法人エフアジヤパン
全事業所

[税込] (単位：円)

自 2015年 4月 1日 至 2016年 3月31日

消耗品費	155,968	
水道光熱費	398,181	
地代 家賃	3,240,000	
広告宣伝費	505,919	
理事会運営費	105,840	
新聞図書費	3,800	
保険料	14,000	
研修費	12,500	
リース 料	39,365	
租税 公課	2,800	
支払手数料	232,893	
その他経費計	5,839,158	
管理費 計		17,060,967
経常費用 計		57,406,041
当期経常増減額		△ 4,987,419
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 4,987,419
法人税、住民税及び事業税		70,000
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		△ 5,057,419
前期繰越正味財産額		28,003,843
次期繰越正味財産額		22,946,424

財務諸表の注記

特定非営利活動法人エファジャパン

2016年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

(2). 引当金の計上基準

退職給付引当金:職員の退職給付に備える為、退職給与規定に基づく自己都合期末要支給額により計上しています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業							合計
	定款第5条第1項に係る事業					定款第5条第2項に係る事業		
	ベトナム事業	カンボジア事業	ラオス事業	タイ事業	緊急支援	国内事業	収益事業	
(人件費)								
給料 手当(事業)	3,618,599	2,653,732	2,464,143			3,746,244		12,482,718
法定福利費(事業)	86,562		50,499					137,061
人件費計	3,705,161	2,653,732	2,514,642	0	0	3,746,244	0	12,619,779
(その他経費)								
仕入高	3,624,056	66,537	77,968					3,768,561
プロジェクト費 (事業)	2,179,437	5,948,459	6,929,688	200,000	1,107,328	502,400		16,867,312
業務委託費 (事業)		436,204						436,204
広報費 (事業)						550,952		550,952
印刷製本費(事業)		6,980				190,776	5,400	203,156
会 議 費(事業)	38,025	4,573	9,454					52,052
旅費交通費(事業)	1,176,216	1,893,126	696,507	79,888		45,116		3,890,853
車 両 費(事業)			18,655					18,655
通信運搬費(事業)	48,208	192,271	107,882	517			94,394	443,272
消耗品 費(事業)	21,904	204,777	52,725				13,004	292,410
修 繕 費(事業)			4,399					4,399
地代 家賃(事業)	107,806	292,236						400,042
保 険 料(事業)			10,331					10,331
諸 会 費(事業)			2,178			130,800		132,978
交際費 (事業)	28,748		13,346	2,000				44,094
支払手数料(事業)	22,211	45,598	25,971	7,000	14,432	3,726	22,512	141,450
雑 費(事業)		61					2,386	2,447
その他経費計	7,246,611	9,090,822	7,949,104	289,405	1,121,760	1,423,770	137,696	27,259,168
事業費計	10,951,772	11,744,554	10,463,746	289,405	1,121,760	5,170,014	137,696	39,878,947

財 産 目 録

特定非営利活動法人エファジャパン
全事業所

[税込] (単位 : 円)
2016年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	92,762
一般会計	(32,697)
収益事業	(60,065)
普通 預金	14,001,870
中央労働金庫	(8,939,156)
三菱東京UFJ	(2,878,066)
ラオス外貨預金	(43,962)
ベトナム外貨預金	(421,108)
三菱東京UFJ (収益)	(1,719,578)
郵便振替口座	6,191,576
定期 預金	5,075,000
現金・預金 計	25,361,208

(売上債権)

未 収 金	261,912
売上債権 計	261,912

(棚卸資産)

棚卸 資産	254,843
棚卸資産 計	254,843

(その他流動資産)

前払 費用	301,452
仮 払 金	886,908
その他流動資産 計	1,188,360

流動資産合計

27,066,323

【固定資産】

(投資その他の資産)

敷 金	1,440,000
投資その他の資産 計	1,440,000

固定資産合計

1,440,000

資産の部 合計

28,506,323

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	2,162,542
前 受 金	6,000
預 り 金	109,857
雇用保険	(39,447)
源泉所得税	(70,410)
未払法人税等	70,000

流動負債 計

2,348,399

【固定負債】

退職給付引当金	3,211,500
---------	-----------

固定負債 計

3,211,500

負債の部 合計

5,559,899

正味財産

22,946,424

2016 年度予算

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位:円)

科 目		予 算 額		備 考	2015年度決算
収入の部					
会費			4,420,000		
	正会員	1,800,000		¥12,000 × 150名	1,620,000
	シニア会員	270,000		¥6,000 × 45名	228,000
	賛助会員(個人)	350,000		¥10,000 × 35口	340,000
	賛助会員(団体)	2,000,000		¥50,000 × 40口	1,750,000
寄付金			47,010,000		
	パートナー(個人)	270,000		¥3,000 × 90口	258,000
	パートナー(団体)	1,300,000		¥20,000 × 65口	1,260,000
	ベトナム指定	720,000			0
	ラオス指定	1,420,000			5,695,200
	カンボジア指定	1,300,000			4,561,717
	タイ指定	0			240,000
	一般(無指定)	42,000,000		2016年度交付金など	31,242,482
	緊急支援	0			500,000
助成金など			2,000,000		
	助成金	2,000,000		連合愛のカンパなど	1,689,000
	補助金	0			0
事業収益			150,000		
	エファグッズ	150,000			130,400
	ベトナム布袋	0			2,886,000
	イベント	0			0
受取利息					4,193
雑収入					13,630
当期収入合計			53,580,000		52,418,622

科 目	予 算 額		2015年度決算
支出の部			
事業費			
海外事業		25,610,000	
ベトナム	9,550,000		10,951,772
ラオス	7,990,000		10,463,746
カンボジア	8,070,000		11,744,554
タイ	0		289,405
緊急援助	0		1,121,760
国内事業		6,120,000	5,307,710
為替差損			466,127
事業費合計		31,730,000	40,345,074
管理費			
人件費		11,040,000	
給料手当	7,740,000		7,297,616
退職給付費用	1,690,000		989,600
法定福利費	1,360,000		2,613,099
福利厚生費	50,000		35,544
旅費交通費	200,000		285,950
その他経費		4,327,000	
地代家賃	970,000		3,240,000
水道光熱費	140,000		398,181
旅費交通費	300,000		172,600
通信運搬費	320,000		352,566
消耗品費	210,000		155,968
理事会運営費	270,000		105,840
広告宣伝費	1,370,000		505,919
印刷費	220,000		584,972
リース料	60,000		39,365
修繕費	10,000		0
支払手数料	250,000		232,893
租税公課	3,000		2,800
研修費	30,000		12,500
会議費	70,000		17,754
新聞図書費	10,000		3,800
諸会費	10,000		0
業務委託費	0		0
保険料	14,000		14,000
雑費	0		0
法人税等	70,000		70,000
管理費合計		15,367,000	17,130,967
当期支出合計		47,097,000	57,476,041
当期収支差額		6,483,000	-5,057,419

特定非営利活動法人エファジャパン 2015 年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 2016 年 7 月 28 日

〒 102-0074 東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3 階

電話 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

ホームページ <http://www.efa-japan.org>



すべての人々に、^{ちから}力を。